

LIXIL キャスティナB・C錠・ELA錠 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
- 製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 門扉の種類によっては、デザイン上格子間のすき間が大きく頭や足が入りやすいものがあります。段差のある場所や高所への施工は控えてください。重大な事故につながるおそれがあります。



注意

- 商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。



ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>



ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

注意

- 製品の強度低下、またはケガの原因となりますので、下記事項をお守りください。
 - ・ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - M4ネジ：2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)
 - M5ネジ：3.0N・m±0.5N・m (30±5kgf・cm)

梱包明細表

【1】錠セット

名 称	略 図	員 数					
		両錠	片錠	両面シリンダータイプ			
				両錠		片錠	
右勝手	左勝手	右勝手	左勝手				
錠掛け側		1	1	—	—	—	—
錠掛け側 右勝手用 両面シリンダータイプ		—	—	1	—	1	—
錠掛け側 左勝手用 両面シリンダータイプ		—	—	—	1	—	1
錠受け側		1	—	1	1	—	—
片錠受け		—	1	—	—	1	1
レバー (B錠)		2	1	2	2	1	1
レバー (C錠)		2	1	2	2	1	1
レバー (ELA錠)		2	1	—	—	—	—
キズ防止プレート ※		1	—	1	1	—	—
シリンダーキー		3	3	3	3	3	3
【1-1】M5×20ナベセムスネジ		—	2	—	—	2	2
取付説明書	—	1	1	1	1	1	1
取扱説明書	—	1	1	1	1	1	1

※ 両・外開き時のみ使用します。

【2】ラッチ錠用片外開き部品

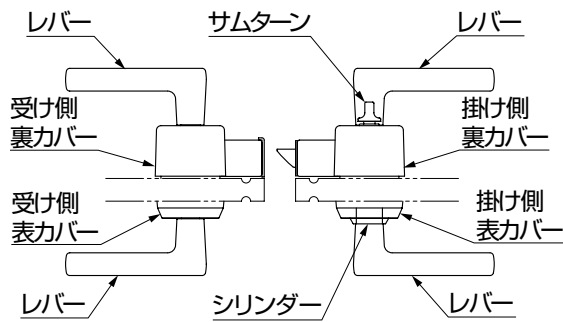
名 称	略 図	員 数	
		75角用	105角用
片外開き部品75角用		1	—
片外開き部品105角用		—	1

【2】ラッチ錠用片外開き部品 (つづき)

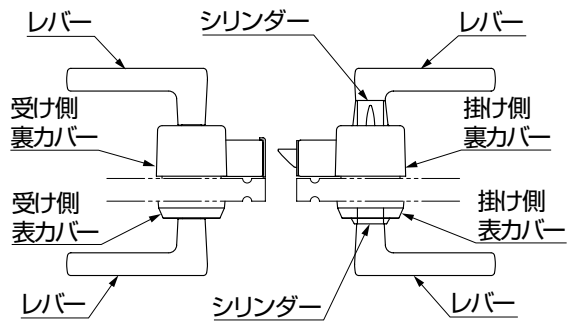
名 称	略 図	員 数	
		75角用	105角用
片外開き用戸当り		1	1
片外開き用戸当り裏板		1	1
【2-1】M5×14トラス小ネジ		2	2

1. 各部名称

※図は右勝手内開きを示します。



サムターン仕様



両面シリンダータイプ

2. 勝手の変更

2-1 勝手変更

(1) 両錠・片錠 ※扉の勝手が右勝手内開き以外の場合は、下記変更方法にしたがって錠の勝手を変更してください。

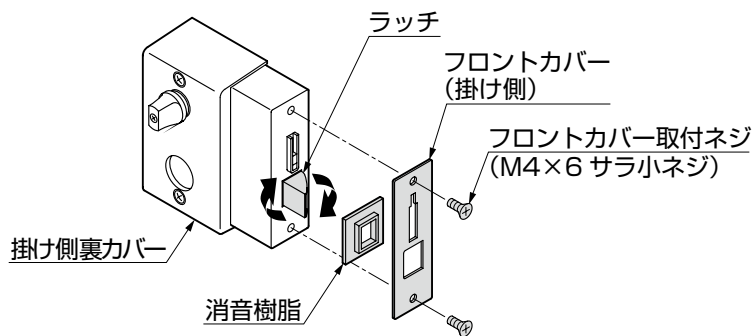
	内開き		外開き	
	左勝手	右勝手	右勝手	左勝手
変更方法	2-2 ラッチの組換え 2-3 機構部および受け箱の勝手変更	2-2 ラッチの組換え	2-2 ラッチの組換え	2-3 機構部および受け箱の勝手変更

(2) 両面シリンダータイプ両錠・片錠 ※扉の勝手が外開きの場合は、下記変更方法にしたがって錠の勝手を変更してください。

	外開き	
	右勝手	左勝手
変更方法	2-2 ラッチの組換え	2-2 ラッチの組換え

2. つづき

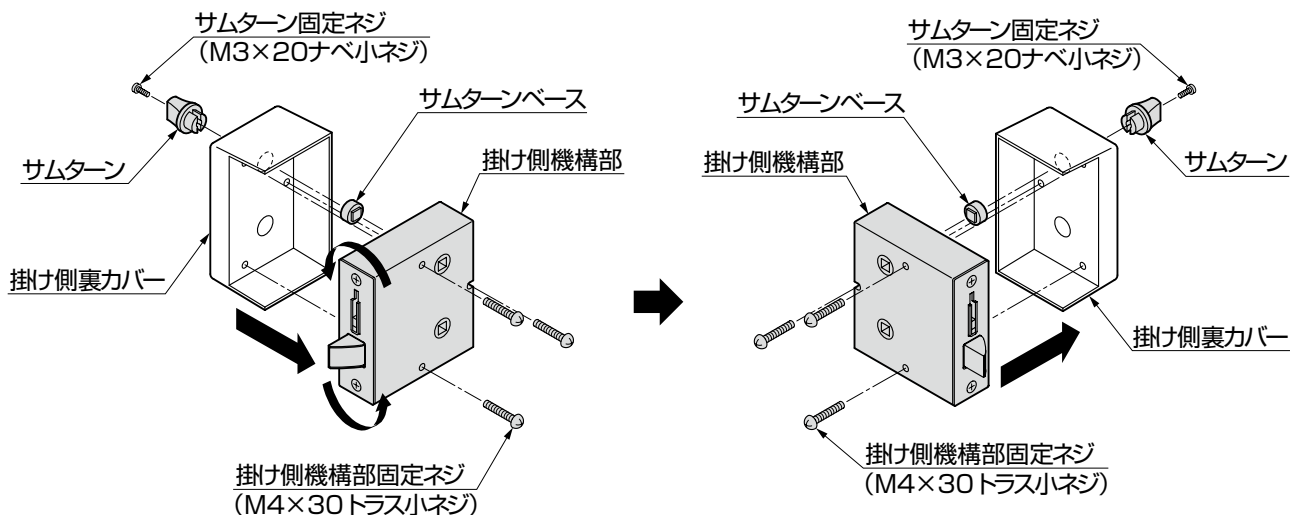
2-2 ラッチの組換え ※図は標準のサムターン仕様ですが、両面シリンダータイプの場合も同様です。



- ①フロントカバーを外しラッチを回転させてから、再度「フロントカバー取付ネジ」で取付けてください。

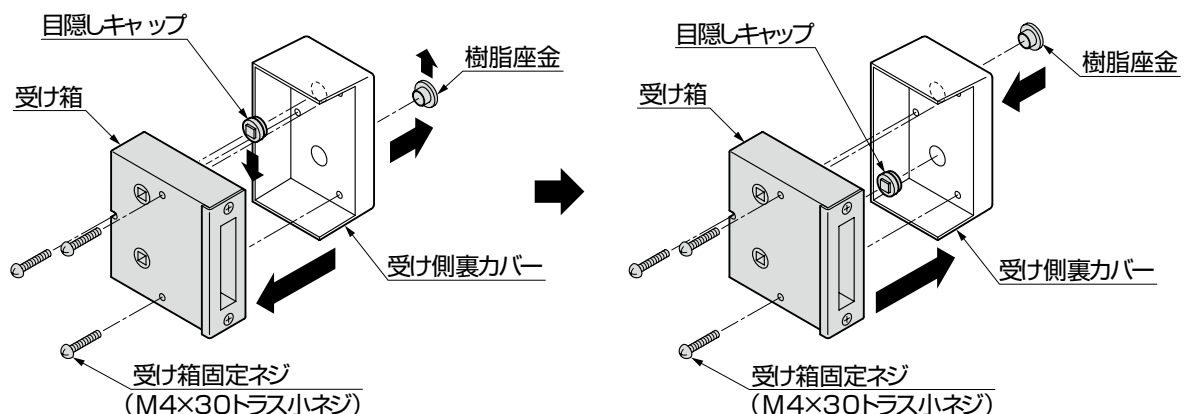
2-3 機構部および受け箱の勝手変更 ※両面シリンダータイプの場合、この作業はありません。

(1) 掛け側



- ①サムターン固定ネジをゆるめ、サムターンを取外してください。
- ②掛け側裏カバーから機構部を取外し、機構部を反転してください。
- ③サムターン受けを反対側の孔にセットしてください。
- ④機構部を掛け側裏カバーに挿入し、「掛け側機構部固定ネジ」で取付けてください。

(2) 受け側



- ①受け側裏カバーから受け箱を取外してください。
- ②目隠しキャップおよび樹脂座金の位置を、それぞれ変更してください。
- ③受け箱を受け側裏カバーに挿入し、「受け箱固定ネジ」で取付けてください。

3. 錠の取付け

※図中のレバーはB錠のものです。

3-1 両開きの場合

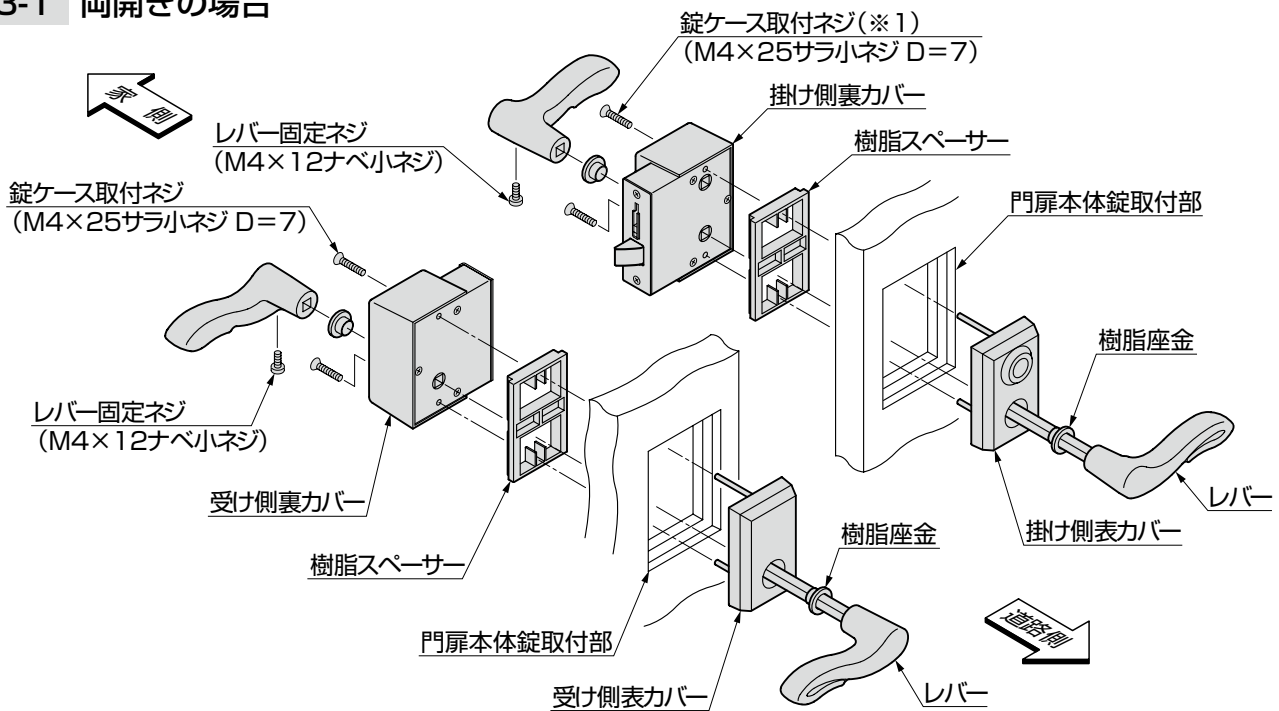


図3-1

①図3-1にしたがって、門扉に錠を取付けてください。

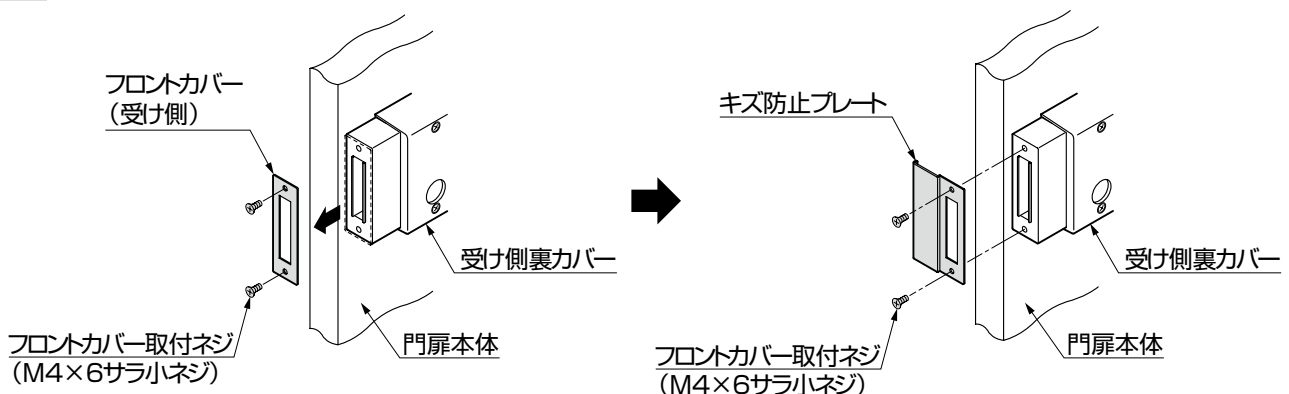
⚠ 注意

●両面シリンダータイプの場合、掛け側の「錠ケース取付ネジ」(※1)を取付ける際は、ビットタイプのドライバーを使用しないでください。本体にキズをつけるおそれがあります。

🔑 ポイント

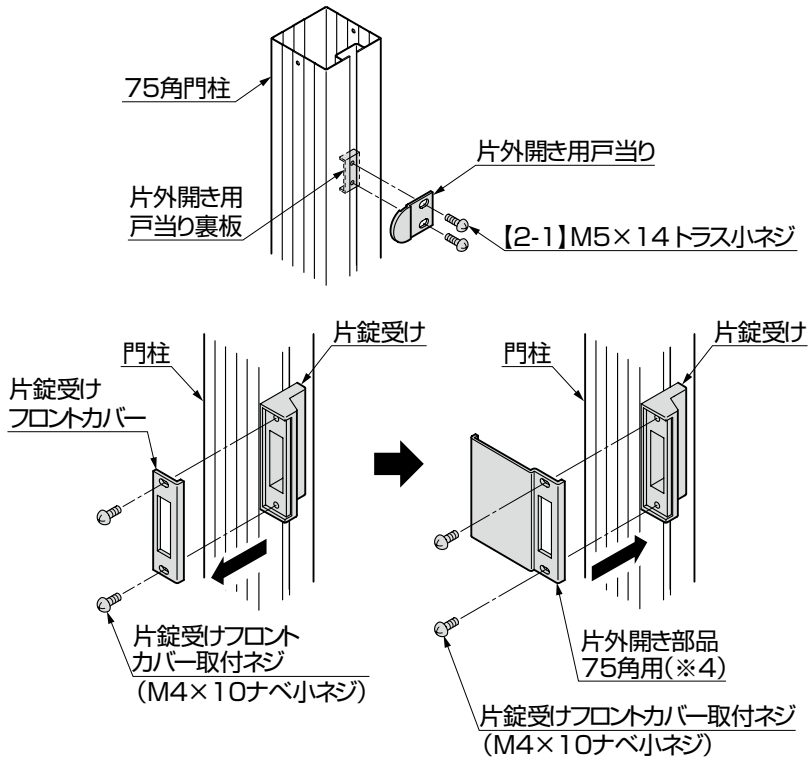
- 樹脂スペーサーには向きがあります。図の向きで取付けるようにしてください。
- 取付後、家側から見たときに錠ケース取付ネジを締め込んだ後も、門扉本体と錠裏カバーとの間にすき間があいているように見えますが、止水や取付強度に影響はありません。
- 両面シリンダータイプの場合、掛け側の「錠ケース取付ネジ」(※1)は「M4×25サラ小ネジ D=6」になります。

3-2 両外開きに変更する場合



①受け側裏カバーのフロントカバー（受け側）を外し、キズ防止プレートに交換してください。

3-4 片外開きに変更する場合の追加部品の取付け



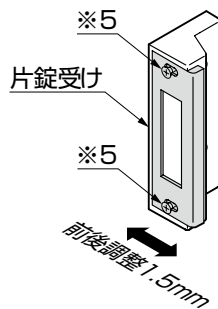
①片外開き用戸当りを【2-1】で取付けてください。

②「片錠受けフロントカバー取付ネジ」をゆるめて片錠受けフロントカバーを取外し、片外開き部品 75角用（※4）に交換してください。

ポイント

●105角門柱の場合、片外開き部品 75角用（※4）は片外開き部品 105角用になります。

3-5 片錠受けの調整方法



①片錠受けは、上下のネジをゆるめて調整してください。（※5）

4. サムターンの操作とエマージェンシー機構

※両面シリンダータイプの場合、この作業はありません。

4-1 サムターンの操作方法

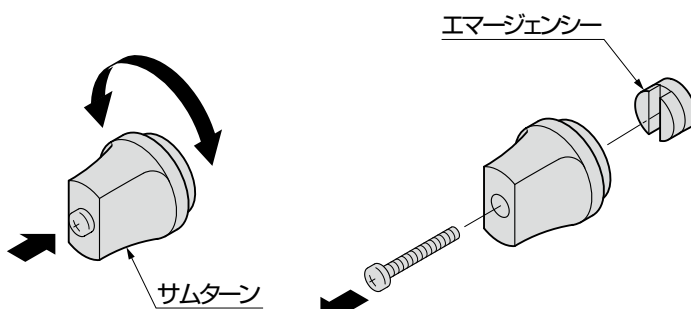


図4-1

①サムターンを押しながら回して、施錠・解錠してください。

補足

●サムターンを取外すと、コインやキーなどがないと回せない仕様になります。（「4-2 エマージェンシー機構への変更」、図 4-1 参照）

●サムターンにて施錠または解錠を行った場合、サムターンのツマミ部は必ずツマミが縦になる位置に戻してください。

4. つづき

4-2 エマージェンシー機構への変更

※レバーはB錠のものです。

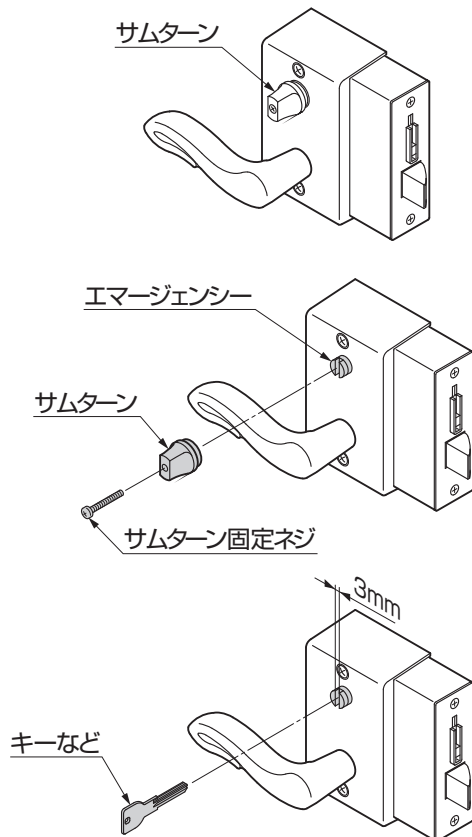


図4-2

- ①出荷段階では家側にサムターンが付いていますので、手で施錠・解錠の操作を行なってください。
- ②エマージェンシー機構に変更する場合は、中央のネジをゆるめてサムターンを取外してください。

⚠ 注意

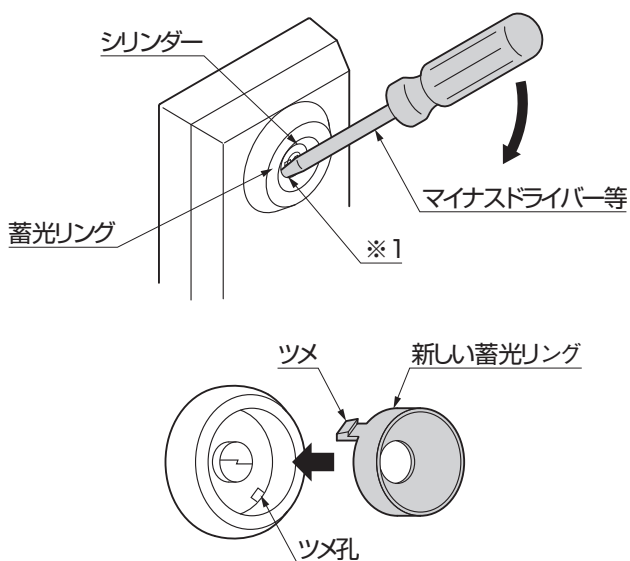
- エマージェンシー機構は、いたずらのある程度抑止できますが、部外者の解錠操作を完全に防止するものではありません。

✎ 補足

- エマージェンシー機構に変更すると、家側からの施錠・解錠操作が素手ではできなくなり、外側から手を伸ばして解錠する、等のいたずらを制約することができます。
- エマージェンシー機構で施錠・解錠するには、3mm幅の溝に入るキーの先端やコイン、マイナスドライバーなどを差込んで回転してください。(図4-2参照)

5. 蓄光リングの交換

※両面シリンダータイプの場合も同様です。



- ①古くなった蓄光リングを、マイナスドライバーなどでこじるようにして取除いてください。

🔑 ポイント

- マイナスドライバー等を蓄光リングの内側(シリンダー側)に差込み(※1)、テコの力を利用してこじるようにすると簡単にリングを外すことができます。
- 蓄光リングを交換する際に、錠本体にキズをつけないようにしてください。

- ②新しい蓄光リングのツメをツメ孔に合わせて、はめ込んでください。

取説コード

A316

KBN572377G
200209A_1007
201607_1049